

-はじめに-

急激に社会が変化する中で、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化・多様化しています。

そうした状況の中、新学習指導要領の「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と地域が共有し、連携・協働することによってその実現を図っていくことが必要です。

このたび、滋賀の教育大綱（第4期滋賀県教育振興基本計画）が策定され、令和6年度から令和10年度までの5年間における県の教育施策の基本的な方針や主な施策、目標が示されたところです。

第3期計画の成果・課題として、「学校運営協議会の設置が一定増えているが、引き続きコミュニティ・スクールの取組の推進が求められる」、「家庭教育支援チームを組織する市町が増えているが、孤立しがちな保護者の増加傾向を踏まえ、地域全体で子どもの育ちを支える取組が求められる」と挙げられています。

今後も、基本目標である「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」に向けて、家庭や地域と学校との連携・協働活動の充実を推進してまいります。

本実践事例集は、地域全体で学びあい支えあう仕組みづくりの推進に資するものとして、各市町の工夫や努力によって取り組まれた実践をまとめたものです。県内の取組を参考に、事業の更なる拡充に取り組んでいただければと存じます。また、今後、学校と地域の連携・協働体制の構築を目指される市町におかれましては、本実践事例集を参考にしていただければ幸いです。

最後になりましたが、日頃より地域において本事業をはじめ、地域全体で子どもたちの成長を支える社会の実現に向けて御尽力いただいている関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後も引き続き御支援のほどお願いします。

また、本事例集の編集に際し、貴重な情報提供や寄稿をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

令和6年（2024年）3月

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課